

# 「関西生コンを支援する会」 第5回総会を開催 (12/14)

## ● 厳しいせめぎ合いの1年

12月14日、「関西生コンを支援する会」第5回総会が連合会館で開かれた。

開会あいさつは共同代表の海渡雄一弁護士。事務局次長の小谷野毅（全日建書記長）が活動経過報告と新年度活動方針を提案した。

総会は、新年度役員を承認した

のち、今回で役員を退任した前・事務局長の勝島一博さん（前・平和フォーラム共同代表）が今年2月に亡くなった宮里邦雄弁護士（元・共同代表）が支援する会結成総会で語った言葉を引用しつつ、関西生コン支援の活動の重要性を訴えた。総会決議（2ページに掲載）採択ののち、共同代表の内田雅敏弁護士が「中身の濃い活動経過とした具体的な活動方針が語られた。向こう1年間もしっかりたたかっていこう」と閉会あいさつを述べた。

\*\*\*\*\*

### <新役員体制>

共同代表 鎌田慧（ルポライター）／佐高信（評論家）／海渡雄一（弁護士）／内田雅敏（弁護士）／木下徹郎（弁護士）＝新／藤本泰成（平和フォーラム共同代表）／菊池進（全日建委員長）

事務局長 染裕之（平和フォーラム事務局長）＝新

事務局次長 小谷野毅（全日建書記長）／土屋トカチ（映画監督）

会計監査 市原まち子（平和フォーラム事務局）

## ● 新年度活動方針(一部抜粋)

### 1. 2024年前半の重点課題

#### (1) コンプライアンス2次事件判決対策

2月6日判決はすでにみたとおり不当判決が予想されます。抗議声明をただちに出すのははじめ、控訴審にむけて署名活動などにとりくみます。

#### (2) 旭生コン事件中労委命令取消訴訟対策

労働法学者をまじえた第5回検証シンポジウムの開催をはじめ、中労委のあり方を糾す署名活動などにとりくみます。

#### (3) 加茂生コン事件差戻審対策

差戻審を完全無罪獲得のチャンスとするためには、団交拒否などの強固な不当労働行為意思を示した事業者が「被害者」を演じたこの事件のそもそものおかしさや、組合員の抗議の態様の正当性についての理解と共感を広げる努力が不可欠です。この観点に立ち、「陪審員裁判」的な集会や再現ドラマを企画するなどの活動にとりくみます。

## 関西生コンを支援する会 第5回総会 総会決議

全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部に対する、業界、警察、検察が一体となった未曾有の組合弾圧事件が2018年に開始されました。事件開始からしばらくの間は、戦後労働運動の歴史や法制度の想定をはるかに超える激しい弾圧に、組合は動揺を強いられ、一部の仲間は去っていきました。しかしそのような中でも、仲間と運動を信じ、決して弾圧に屈しなかった組合員を中心に、反撃を開始しました。

会社や警察が労働組合を反社会的集団とみなし、正当な組合活動を恐喝や威力業務妨害という犯罪としてでっち上げ、これを司法が追認するという驚愕すべき実態が明らかにされていく中、これは単なる関西生コン支部だけの問題ではなく、すべての労働組合と労働者の基本的な権利に対する攻撃であるという危機感が、徐々に広がってきました。

私たちは、不当な長期勾留や接見禁止、憲法28条、労働組合法第1条2項刑事免責に違反する不当捜査を直ちにやめさせ、公正かつ迅速な裁判による無罪判決の獲得をめざして、2019年に「関西生コンを支援する会」を結成し、全国に支援を広げるとりくみを開始しました。

いくつもの不当判決が2020年以降、各級裁判所において出されました。しかしこの1年間は高裁での逆転無罪判決を含む複数の無罪判決をかちとり、事件全体の潮目が大きく変わり始めました。有罪率99.9%の日本において、検察の粗暴な論理に対して司法が「正当」な判決を示さざるを得ない状況が生まれてきていることは、重大な意味があります。また映画「ここから」の上映運動が各地でとりくまれ、関西生コン事件への理解とその重大性の共有がさらに広がっています。私たちはこの流れをさらに拡大し、事件当事者への権利と不利益の回復をかちとるとともに、産別運動、ストライキによるたたかいを日本においても再構築していかなければなりません。

私たちは、これから7年目のたたかいに向かうべく、本総会を開催しました。まずは現在係争中の5つの刑事裁判すべてにおいて、無罪実をかちとることが重要です。さらには事件をでっち上げた当事者や警察、検察などの責任と不当性を明確にするための国賠訴訟のたたかいにも全力を挙げていく必要があります。加えて適正な労働組合保護という使命を逸脱して迷走している労働委員会に対すとりくみも必要です。

そしてこれらの活動の基盤として、「支援する会」の強化と拡大の重要性をあらためて確認します。共感と共に、具体的な力の輪を広げるとりくみを、強めていきます。私たちは裁判闘争の勝敗にとどまることなく、労働者として、生活者としてまっとうな権利が保障された社会を作り続けていかなければなりません。そのために「関西生コンを支援する会」は、さらに団結を強め、全力で突き進むことを本総会において誓います。

団結して、がんばるぞ！

2023年12月14日  
第5回総会 参加者一同